

# 宮崎県感染症週報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

## 令和6年第24週の発生動向

### □ 全数報告の感染症 (24 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 1 例。
- 3 類感染症：報告なし。4 類感染症：レジオネラ症 1 例。
- 5 類感染症：クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	延岡	80歳代	男	疑似症患者	発熱
4類	レジオネラ症	宮崎市	70歳代	男	肺炎型	発熱、咳嗽、肺炎
5類	クロイツフェルト・ヤコブ病	宮崎市	40歳代	男	古典型クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD) 診断の確実度: 確実	進行性認知症、ミオクローヌス 錐体路症状、小脳症状、視覚異常、 異常感覚
	劇症型溶血性 レンサ球菌感染症	宮崎市	30歳代	女	—	ショック、軟部組織炎、中枢神経症状

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 1, 113 人(定点当たり 27.8)で、前週比 96%とほぼ横ばいだった。なお、前週に比べ増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症で、減少した疾患は咽頭結膜熱、手足口病だった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 335 人(5.8)で、前週比 107%と増加した。高千穂(13.5)、日南(9.2)、都城(8.9)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が約 3 割だった。

##### 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

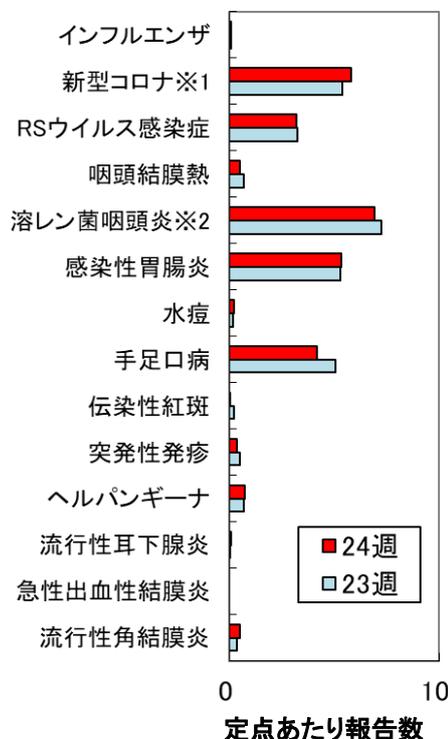
報告数は 249 人(6.9)で、前週比 96%とほぼ横ばいだった。例年同時期の定点当たり平均値\*(1.6)の約 4.4 倍であった。延岡(9.0)、都城(8.3)、宮崎市(8.1)保健所からの報告が多く、年齢群別は 5 歳から 8 歳が全体の約 4 割を占めた。

##### 【手足口病】

報告数は 150 人(4.2)で、前週比 82%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(2.2)の約 1.9 倍であった。延岡(9.8)、小林(7.0)、日向(4.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は 6 ヶ月から 2 歳が全体の約 8 割を占めた。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

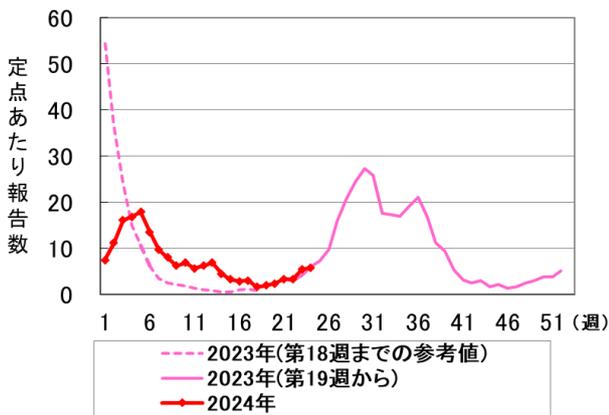
《前週との比較》



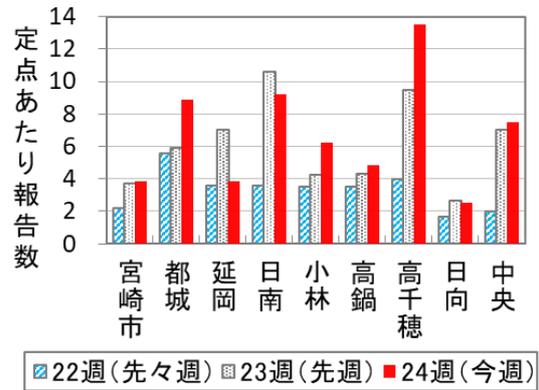
※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

新型コロナウイルス感染症 発生状況

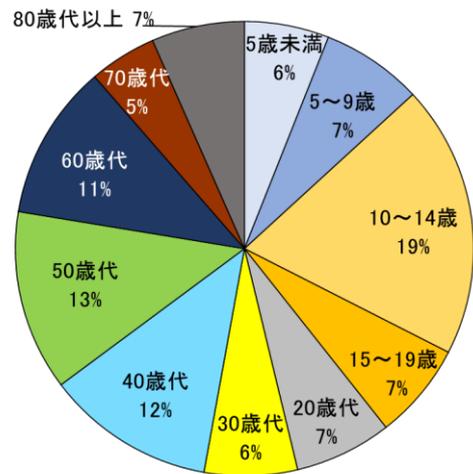


新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)

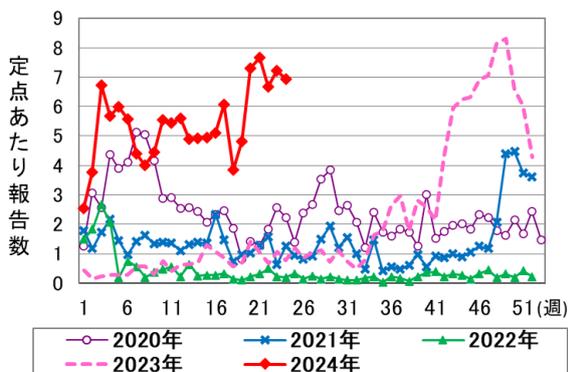


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

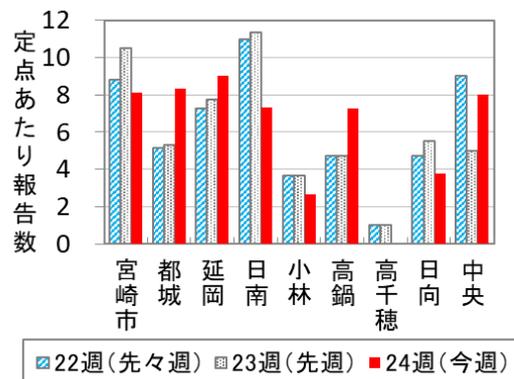
新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第24週)



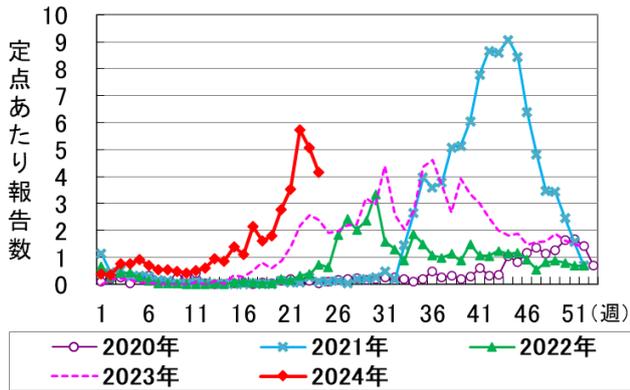
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



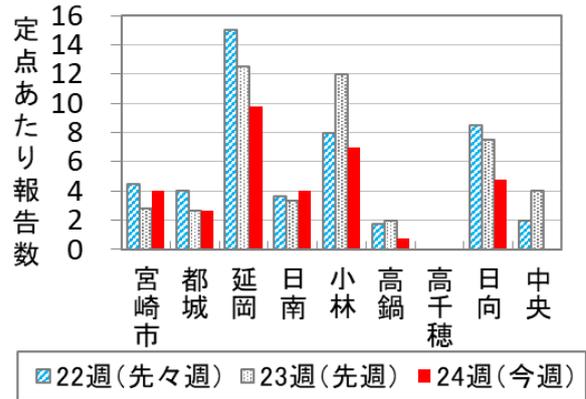
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



### 手足口病 発生状況



### 手足口病 保健所別推移 (3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

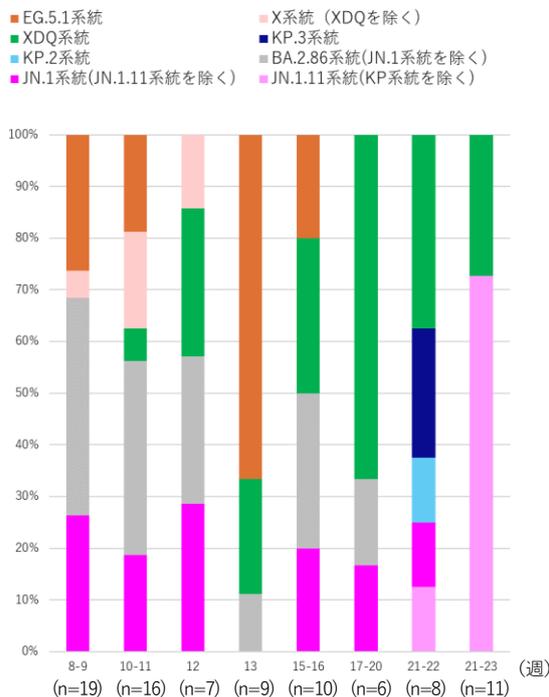
★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.1)
都城	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.3)
延岡	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(9.0) 手足口病(9.8)
日南	なし
小林	手足口病(7.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)

\*流行警報レベル開始基準値\*  
 ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)  
 ・手足口病(5)

### 新型コロナウイルスゲノム解析結果情報 (衛生環境研究所微生物部)

#### 新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統の割合



○第23-24週でJN.1.11系統が約73%を占め、XDQ系統は、約27%を占めている。

※XDQ系統は、BA.2.86.1とFL.15.1.1 (XBB.1.9.1の子孫株)の組換え体で、現在、日本で流行している。

ゲノム解析は概ね前週の検体を用いて実施している。なお、解析検体数が多くない場合は割合の変動が大きくなる。

衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスのPCR陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施している。

## 📊 全国 2024 年第 23 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	275 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	63 例	腸チフス	1 例		
4類感染症	E型肝炎	11 例	A型肝炎	2 例	エキノкокクス症	1 例
	回帰熱	1 例	重症熱性血小板減少症候群	2 例	つつが虫病	3 例
	デング熱	7 例	日本紅斑熱	16 例	ブルセラ症	1 例
	ライム病	2 例	レジオネラ症	34 例	レプトスピラ症	1 例
5類感染症	アメーバ赤痢	5 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	25 例
	急性脳炎	5 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	32 例
	後天性免疫不全症候群	19 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	9 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	53 例	水痘(入院例)	6 例
	梅毒	222 例	破傷風	4 例	百日咳	26 例
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	2 例				

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 109%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症、手足口病及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患はインフルエンザであった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 19,719 人(4.0)で前週比 113%と増加した。沖縄県(19.6)、鹿児島県(8.7)、北海道(6.7)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 2 割を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 15,322 人(4.9)で前週比 100%と横ばいだった。例年同時期の定点当たり平均値\*(1.2)の約 4.1 倍であった。福岡県(9.8)、鳥取県(9.7)、北海道(8.6)からの報告が多く、年齢群別では 4 歳から 7 歳が全体の約 4 割を占めた。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

## 月報告対象疾患の発生動向 <2024年5月>

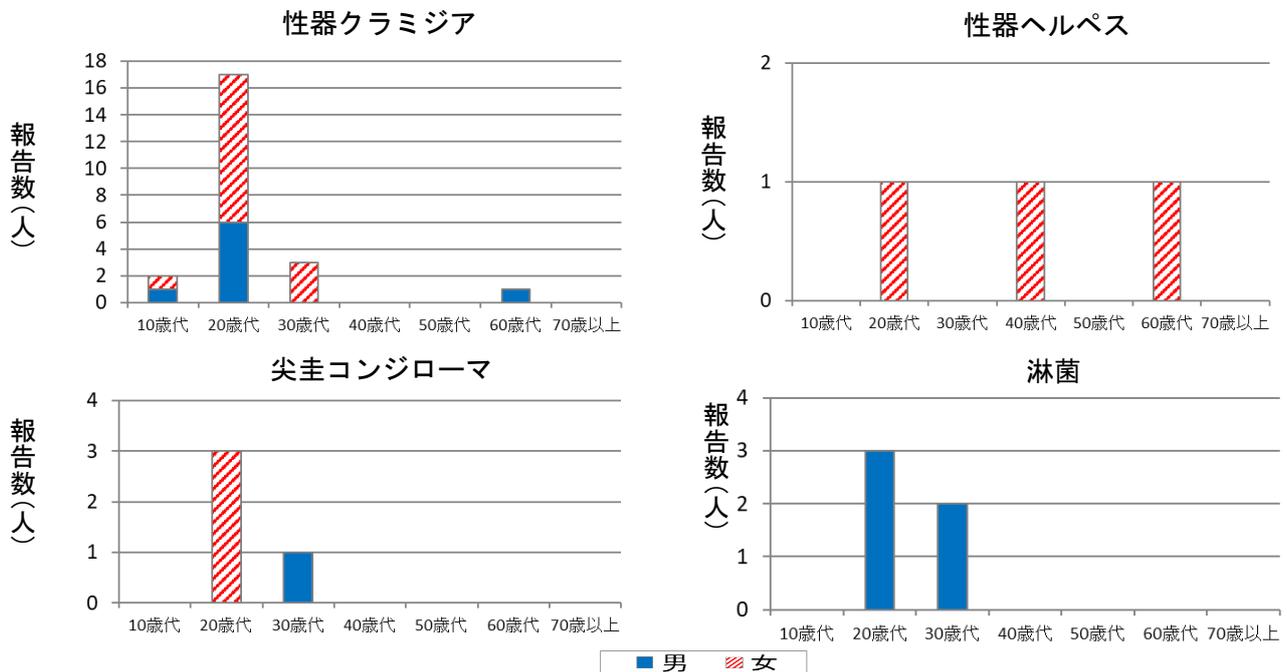
### □性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は35人(2.7)で、前月比95%とほぼ横ばいだった。また、昨年5月(3.9)の約0.7倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数23人(1.8)で、前月と同率、昨年5月の約0.8倍であった。  
20歳代が全体の約7割を占めた。(男性8人・女性15人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数3人(0.23)で、前月及び昨年5月の0.5倍であった。  
(女性3人)
- 尖圭コンジローマ：報告数4人(0.31)で、前月の約1.3倍、昨年5月の2.0倍であった。  
(男性1人・女性3人)
- 淋菌感染症：報告数5人(0.38)で、前月と同率、昨年5月の約0.4倍であった。  
(男性5人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,707人(4.8)で、前月比103%とほぼ横ばいだった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,522人(2.6)で前月比103%、性器ヘルペスウイルス感染症844人(0.86)で前月比98%、尖圭コンジローマ602人(0.62)で前月比107%、淋菌感染症739人(0.76)で前月比109%であった。

### □薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は17人(2.4)で、前月比90%と減少した。また、昨年5月(2.9)の約0.9倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数16人(2.3)で、前月の約0.8倍、昨年5月の0.8倍であった。70歳以上が全体の約7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人(0.1)であった。(前月及び昨年5月報告なし)
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,379人(2.9)で、前月比101%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,273人(2.7)で前月比100%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症97人(0.20)で前月比105%、薬剤耐性緑膿菌感染症9人(0.02)で前月比200%であった。

宮崎県 感染症情報

(71 定点医療機関)

2024年 第24週(06月10日～06月16日)

疾病名		第23週	第24週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	4	3	2			1					
	定点当り	0.07	0.05	0.13	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	312	335	62	89	27	46	25	29	27	15	15
	定点当り	5.38	5.78	3.88	8.90	3.86	9.20	6.25	4.83	13.50	2.50	7.50
RSウイルス感染症	報告数	116	114	46	21	16	12		7		12	
	定点当り	3.22	3.17	4.60	3.50	4.00	4.00	0.00	1.75	0.00	3.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	24	17	7	2	3	1		1		3	
	定点当り	0.67	0.47	0.70	0.33	0.75	0.33	0.00	0.25	0.00	0.75	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	260	249	81	50	36	22	8	29		15	8
	定点当り	7.22	6.92	8.10	8.33	9.00	7.33	2.67	7.25	0.00	3.75	8.00
感染性胃腸炎	報告数	190	192	53	38	21	20	26	22		9	3
	定点当り	5.28	5.33	5.30	6.33	5.25	6.67	8.67	5.50	0.00	2.25	3.00
水痘	報告数	6	8	4	3			1				
	定点当り	0.17	0.22	0.40	0.50	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	182	150	40	16	39	12	21	3		19	
	定点当り	5.06	4.17	4.00	2.67	9.75	4.00	7.00	0.75	0.00	4.75	0.00
伝染性紅斑	報告数	8	1	1								
	定点当り	0.22	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	17	12	4	1	1	3	1			2	
	定点当り	0.47	0.33	0.40	0.17	0.25	1.00	0.33	0.00	0.00	0.50	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	25	26	4	3	15	3				1	
	定点当り	0.69	0.72	0.40	0.50	3.75	1.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	3	2								1
	定点当り	0.03	0.08	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	2	3	2		1						
	定点当り	0.33	0.50	0.67	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1										
	定点当り	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週～24週 保健所受理分)

2類感染症	結核	41例(1)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	23例		
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	1例
	つつが虫病	14例	日本紅斑熱	5例
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10例(1)	後天性免疫不全症候群	2例
	侵襲性肺炎球菌感染症	7例	水痘(入院例)	4例
	播種性クリプトコックス症	1例	百日咳	37例
			重症熱性血小板減少症候群	5例
			レジオネラ症	6例(1)
			クロイツフェルト・ヤコブ病	3例(1)
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例
			梅毒	78例

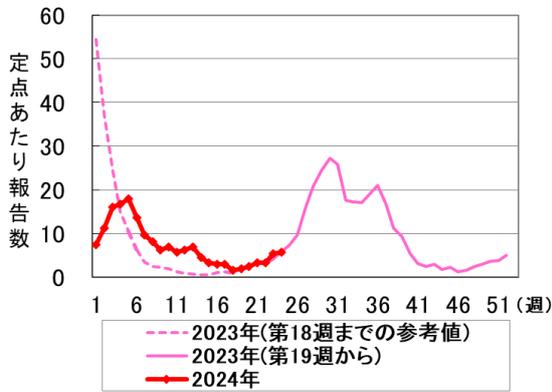
( )内は今週届出分、再掲

# 新型コロナウイルス感染症情報 《県内第 24 週、全国第 23 週（再掲）》

## □ 県内第 24 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

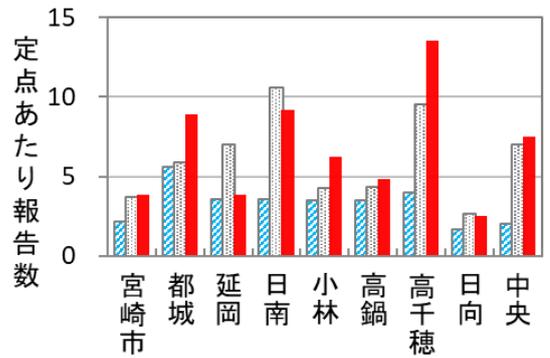
6 月 10 日～6 月 16 日までの 1 週間で 335 人(5.8)の報告があった。前週比 107%と増加し、高千穂(13.5)、日南(9.2)、都城(8.9)保健所管内からの報告が多かった。

新型コロナウイルス感染症 発生状況



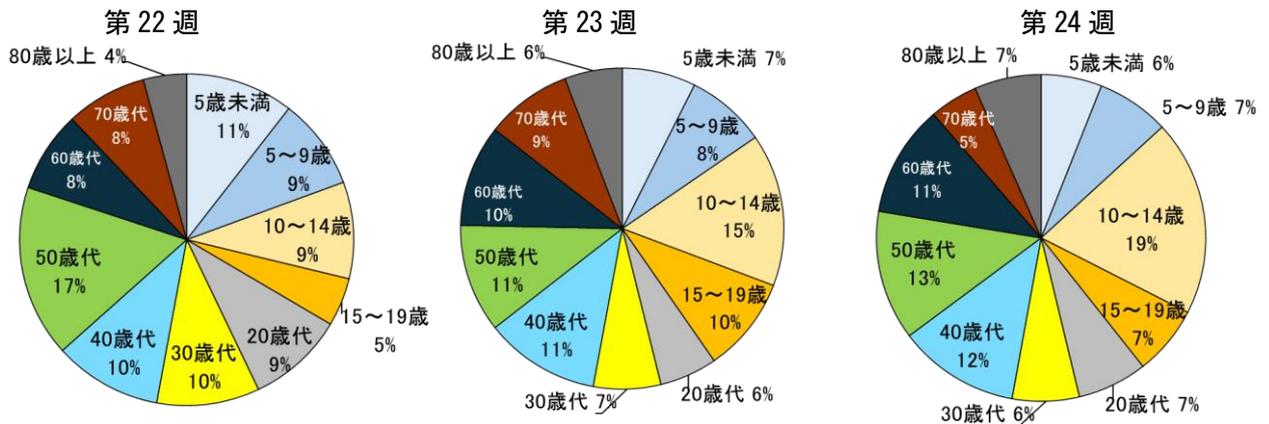
※新型コロナウイルス感染症の 2023 年第 1 週～第 18 週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3 週分)

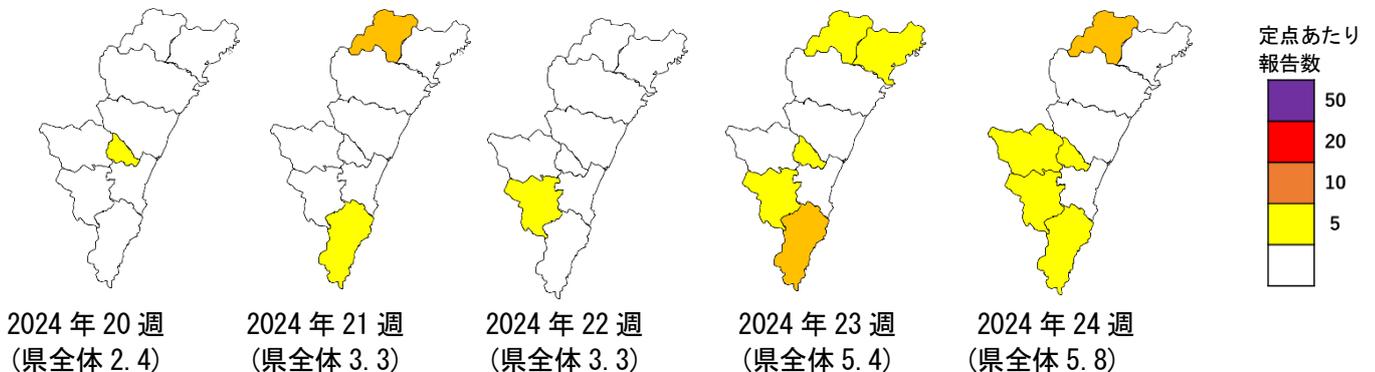


■ 22週(先々週) ■ 23週(先週) ■ 24週(今週)

新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ 2024 年第 20 週～2024 年第 24 週



\* 県独自の基準によるもの

## □ 全国第 23 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

6 月 3 日～6 月 9 日までの 1 週間で 19,719 人(4.0)の報告があった。前週比 113%と増加し、沖縄県(19.6)、鹿児島県(8.7)、北海道(6.7)からの報告が多かった。年齢群別では 15 歳未満が全体の約 2 割を占めた。